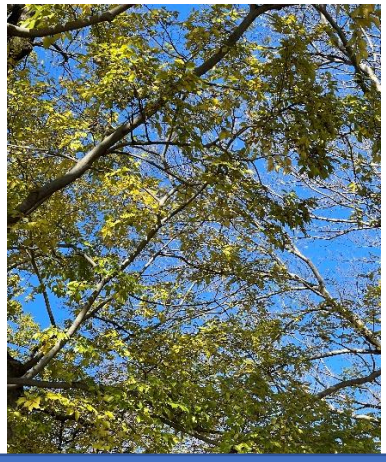
民間企業の発想と専門力で
三鷹を変革する！三鷹市議会議員

三鷹ウイークリーレポート
2025年4月30日



おばた　和仁

■おばた和仁（かずひと）
〒181-0012 三鷹市野崎1－1－1
三鷹市役所内　立憲民主緑風会
TEL 080－3046－0741（おばた）
E メール　smalflag@gmail.com
HP　https://obatakazuhito.tokyo

三鷹駅前にイベントホールは必要か　～三鷹駅南口中央通り東地区再開発

三鷹駅南口中央通り東地区は、三鷹センタービルをはじめとする 3 棟の市街地住宅を建て替え、また、文化劇場跡地（さくら通り駐車場・駐輪場周辺）とあわせて一体的に整備されます。整備手法としては、段階的な整備手法が採用され、地区内の東側の一画で UR 賃貸住宅の工事が先行して進められます。
なお、三鷹市は、当該地区のまちづくりとしては、「森のような緑化空間の創出」と「にぎわいの創出と商業の活性化」を大きなテーマとして、以下の 3 つについて、重点的に取り組むとしています。

1. イベントホールや広場など、まちづくりに寄与する公共公益施設の整備
2. 自然災害や感染症対策を見据えた防災・減災への取り組み
3. コミュニティバスの発着所や駐輪場・駐車場等の整備による駅周辺の交通課題の改善

さて、公共公益施設に整備については、私たち市民の意見が反映されなければなりません。
イベントホールで本当によいのでしょうか。　市民の皆様のご意見をお待ちしています。

おばた和仁（小幡かずひと）　プロフィール

■市民の声を大切に
よく、話しやすいと言われます。なにごとにも誠実に対応します！市政への要望など、お気軽にご相談ください。

■民間会社で豊富な経験
日本各地で、保険を通じたまちづくりに関わりました。
民間企業の発想で、三鷹の課題に取り組みます。

■大学院で都市工学を専攻
専門性やエビデンスに裏打ちされたまちづくり政策を提案します。

■三鷹生まれ、三鷹育ち
私の原点は三鷹ですが、さまざまな地方で生活したことで、三鷹を客観的に見ることができます。

■三鷹市議会議員2期目、
まちづくり環境委員会（副委員長）、
（株）まちづくり三鷹（助言者委員）、
NPO 法人三鷹ハンディキャブ（理事）。
■東京大学大学院修士課程修了（都市工学）
■三鷹幼稚園、南浦小、三鷹一中、
都立国立高等学校、横浜国大経済学部、
元東京海上日動火災保険（株）の社員。
■中学、高校でバスケットボール部、
大学でダンス部、会社で水泳部、テニス部。
　現在は、水泳、テニス、バンド活動（ドラム）、社交ダンスなど、時折、ラジオ体操、健康麻雀の市民サークルにも顔を出している。

立憲民主党
立憲民主党　立憲民主編集部　号外
〒101-0014　東京都千代田区永田町 1-11-1
電話　０３－３５９５－９９８８（代表）

学校給食は、自校方式・センター方式　～　あなたはどっち派？

小中学校の給食提供については、自校方式（各学校ごとに調理する方式）とセンター方式（センターで大量調理して各校に配送する方式）があり、それぞれに利点と課題があります。三鷹市の学校給食は自校方式、お隣の府中市、武蔵野市はセンター方式を採用していますが、メリット・デメリットを比較してみました。

〈自校方式のメリット〉

・できたての温かい給食を提供できる

・学校ごとの献立の工夫や地元産食材の活用がしやすい

・子どもたちと調理員の距離が近く、食育活動との連携が図りやすい

〈センター方式のメリット〉

・大量調理によるコスト削減効果がある

・栄養士や調理員の配置を効率化できる

・災害時の代替供給体制が整えやすい

現在ではセンター方式でも、温かい給食を提供することは十分可能（クックチル方式（急速冷却・再加熱））となっています。自校方式でメリットと言われていることは、センター方式でも創意工夫でなんとかなりそうですが、あなたは、やはり、自校方式派でしょうか。

因みに、東京都教育委員会の調査によると、都内の小・中学校および義務教育学校における完全給食実施校の調理方式は自校方式が多くなっています。：自校方式：1,395　校（74.8%）、センター方式：346　校（18.6%）、その他：124　校（6.6%）

国に対する意見書を三鷹市議会に提出　～　議会の審議結果は？

令和 7 年第 1 回定例会において、立憲民主緑風会は、国に対する4つの意見書を三鷹市議会に提出しました。

1．刑事訴訟法における再審規定の改正を求める意見書　　賛成１９　、反対６可決

2．公立小・中学校における学校給食の国による無償化を求める意見書　　賛成２３、反対２で可決

3．　高額療養費の自己負担引き上げは、慎重に審議することを求める意見書　　賛成　20、反対5で可決

4．地域の中小企業・小規模事業者への支援充実を求める意見書　　賛成１２、反対１３で否決

※可否の詳細は、みたか議会だよりをご覧ください！

あなたが主役！　市民参加のまちづくり！

❶すべての人が主役となるまちへ

各地区のコミュニティセンターの法人化や小学校単位の地域運営組織づくりに取組み、誰もが参加できるまちづくりに取り組みます。生成 AI を活用して市民の声を政策に反映させる新たな手法も導入し、孤立を防ぎ、市民同士がつながりあえる参加型のまちづくりを進めていきます。

❷子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らせるまちへ

人権基本条例に基づいたまちづくりを推進し、通学路の「ゾーン 30 プラス化」、災害対策や犯罪抑止力を強化します。命と暮らしを守る防災・減災、安全・安心のまちづくりに全力で取り組みます。

❸子どもを地域で育てるまちへ

子ども一人ひとりに合った学びを実現し、画一的な授業からの転換を図ります。いじめのない学校を目指すとともに、学童保育と地域子どもクラブの融合や、幼稚園・保育所の質の向上にも挑戦します。

❹集い、にぎわうまちへ

市内の公共交通網を充実させ、マイカーに頼らなくても暮らせるまちを目指します。デマンドバスや LRT（次世代型路面電車）の導入、地下鉄丸の内線延伸も視野に。あわせて、企業誘致や三鷹駅前再開発を進め、商業の賑わいも取り戻していきます。

❺次の世代につなぐ、持続可能なまちへ

三鷹の豊かな緑と水を守り、安全な食料自給体制や健康的な学校給食の実現に取り組みます。さらに、2050年カーボンニュートラルに向けて、再生可能エネルギーの利用を推進し、環境にも人にもやさしいまちを目指します。